

### ◎地域の活動拠点

年間延べ1万人ほどの地域の人たちが利用する、市内で最も利用されている泉丘コミュニティルーム。公民分館や校区福祉委員会、自治会などがさまざまな教室や催しを企画していて、多くの地域の人に参加しています。



毎年5月に開催する野外パーティーには約100人が参加

まち中にあるのどかな  
田園風景を散策だ



マチカネくんと歩く

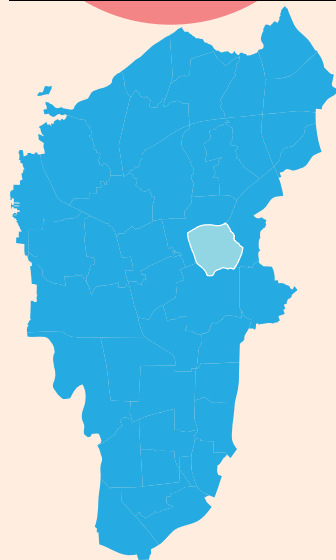
# まちある記

第28回

旭丘から西泉丘、広田町へ

高層住宅と田園が共存するまち

泉丘小学校区



### 今も残る のどかな景観

#### 5 西泉丘1丁目の田園

西泉丘は、もともと丘陵地に開けた農耕地でした。今も田畑が残り、季節の移り変わりを映し出しています。



どこか懐かしい風景が広がります

泉丘小学校の理科室に保管されています



### ◎不思議な鉱物、高師小僧

どこか憎めないこの名前。地下水中の鉄分が、バクテリアの働きで木や植物の根などの周りに集まった後、根が腐ってなくなり、管状になって残った褐鉄鉱の塊のことです。愛知県の高師原台地で多く産出し、幼児や動物のように見えることから、この名が付けられたといわれます。第十七中学校(西泉丘1丁目)の東側には、高師小僧が出る丘があったそうです。

旭丘では、昭和30年代に西日本で空前の大規模総合団地が開発されました。高層の団地が広がる一方で、穏やかな田園風景が今も残る校区です。

## チョウが舞う散歩道

### 3 蝶の道(旭丘)

アルビス旭ヶ丘の団地内には樹木が多く、隣接している服部緑地からもチョウが多く飛来し、散歩する人を楽しませています。雨水を利用した池を作ったり、チョウが好む植物を植えたり、チョウのことを考えた環境が作られています。



## 災害用の備蓄倉庫もある

### 2 熊野田公園(旭丘)

広いグラウンドやテニスコートで地域の人たちに親しまれている熊野田公園。公園内には防災倉庫があり、中には約2,600枚の毛布や6,000食分の非常用食料などの生活物資が備蓄され、いざというときに備えています。



## 市内を縦断

### 1 天竺川(旭丘)

川の源流から神崎川との合流地点まで豊中市内で完結している天竺川。地域の皆さんの協力により、定期的に清掃などが行われ、美しい景観が保たれています。



今年の春には、地域の皆さんによって川にこいのぼりが掲げられました



住民登録がないまちって  
ミステリアスだね

## 地域で子育て

### 4 あっぶるはうす(旭丘)

0歳～3歳の子どもたちを自由に遊ばせながら、育児についての相談やおしゃべりを楽しむことができる子育て支援センター「あっぶるはうす」。かつて利用した人がスタッフとして活動したり、ここで育った子どもが新しい利用者の子どもの世話をしたり、地域で子育ての輪が広がっています。

外で絵本の読み聞かせもしています



### ◎住民がない町、広田町

町内全域に大阪市が管理する「服部霊園」が広がり、住民登録がありません。市内で住民登録のない町は広田町、南空港町、原田西町の3つです。(平成26年(2014)9月1日現在)



広田町の服部霊園に向かう道にかかる極楽橋

11月号は野畑小学校区をご紹介します。お楽しみに。